

**近畿圏の物流に関するアンケート調査**

**1. 貴事業所の現状**

**問 1. 貴事業所の概要についてお答えください。**

下表に貴事業所名、主要な生産品(製造業の場合)、ご担当者の連絡先をご記入ください。

業種及び従業員規模については下表の選択肢からあてはまる番号に○印をつけてください。

貴事業所名	
主要な生産品 (製造業の場合)	
ご担当者	所属部門・役職 ( ) お名前 ( ) 電話番号 ( )

選択肢	業種
1	素材製造
2	部品製造
3	加工
4	最終製品製造
5	物流
6	卸
7	小売
8	その他 ( )

選択肢	従業員規模
1	1~9人
2	10~29人
3	30~99人
4	100人以上

**問 2. 貴事業所の貨物の国内や海外との取引の有無についてお答えください。**

【あてはまる番号に○印をつけてください。】

- 国内での取引のみ実施している。—————→ 問 3-1. へお進みください
- 国内・海外との取引の両方を、もしくは海外との取引をしている。——→ 問 3-2. へお進みください

**問3-1. 問2で「1. 国内での取引のみ実施している」を選択された方は、国内での取引（移出・移入）をされている貨物についてお答えください。**

【貴事業所で取り扱われている貨物の品目別にお答えください。なお、同一の品目で複数の輸送経路(ルート)がある場合は、ルート別にお答えください。】

・貴事業所で取扱っている貨物が複数ある場合は、物流上の課題のある輸送経路を優先して5つお答えください。物流上の課題が無い場合は、5つの代表的な輸送経路についてお答えください。

項目	記入方法	ルート1	ルート2	ルート3	ルート4	ルート5
品目 (P8参照)	貴事業所で取り扱われている貨物の品目を直接記入するか、または、P8「取扱品目番号表」よりあてはまる番号を欄内にご記入ください。					
区分	欄内の該当するものに○印をつけてください。 ※「移出・移入」とは、国内での取引をさします。	移出・移入	移出・移入	移出・移入	移出・移入	移出・移入
単位	通常ご使用の単位を欄内にご記入ください。 (「トン/年」、「フレートトン/年」など)					
貨物量	おおまかな貨物量を欄内にご記入ください。					
納入/仕入れ先の市区町村名	具体的な都市名を欄内にご記入ください					
利用港湾/空港	貨物の輸送に港湾または空港を利用している場合は、荷積みする(最初)、及び荷卸しする(最後)の港湾または空港を欄内にご記入ください。	(最初)  (最後)	(最初)  (最後)	(最初)  (最後)	(最初)  (最後)	(最初)  (最後)
物流上の課題のある区間	下表A「物流上の課題のある区間の選択肢内容」からあてはまる番号をご記入ください。「8. その他」を選択された場合は、具体的な内容を欄内にご記入ください。					
物流上の課題	下表B「物流上の課題の選択肢内容」からあてはまる番号を選択し、番号とともに具体的な内容を欄内にご記入ください。(複数回答可)					

選択肢	表A「物流上の課題のある区間の選択肢内容」
1	陸上輸送【コンテナ車】(工場⇄港湾、工場⇄納入先 など)
2	陸上輸送【コンテナ車以外】(工場⇄港湾、工場⇄納入先 など)
3	陸上輸送【鉄道】(工場⇄港湾、工場⇄納入先 など)
4	海上輸送【コンテナ船】(港湾⇄港湾)
5	海上輸送【RORO船・フェリー】(港湾⇄港湾)
6	海上輸送【一般貨物船】(港湾⇄港湾)
7	航空機輸送(空港⇄空港)
8	その他

選択肢	表B「物流上の課題の選択肢内容」
1	自社の施設の更新(用地の移転、老朽化対策 など)
2	運送事業者等の人手不足への対応(トラックドライバーの確保、倉庫内作業員の確保 など)
3	道路等のインフラの補修(道路の補修、港湾の荷役機械の更新 など)
4	新たな道路等のインフラの整備(高速道路の整備、港湾の整備 など)
5	ルート規制の緩和(〇～〇間における大型車の通行規制の緩和 など)
6	通関以外の手続きの簡素化等(車両通行許可申請の簡素化 など)
7	輸送手段の運行頻度の増加(コンテナ船の就航便数の多頻度化 など)
8	輸送手段の新設(鉄道貨物輸送網の拡張、国内フェリーの増便 など)
9	製造拠点や物流拠点の集積(物流拠点の集積による輸送時間の短縮・コストの縮減 など)
10	新たな物流サービスを提供する事業者の誘致(小口貨物混載サービスセンターの誘致 など)
11	環境負荷の低減
12	災害時等の代替輸送手段やルートの確保
13	輸送については外部委託等をしているため不明
14	その他

※コンテナ車とはセミトレーラーのことをさします。

**問4. へお進みください**

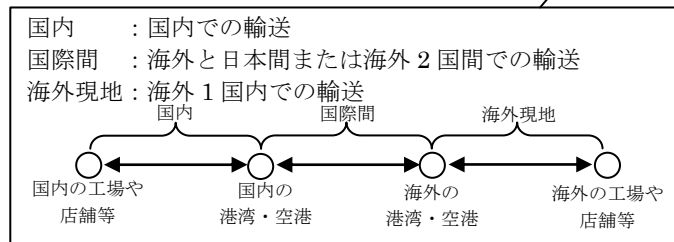
**問3-2. 問2で「2. 国内・海外との取引の両方を、もしくは海外との取引をしている。」を選択された方は、国内での取引（移出・移入）および海外との取引（輸出・輸入）をされている貨物についてお答えください。**

【貴事業所で取り扱われている貨物の品目別にお答えください。なお、同一の品目で複数の輸送経路(ルート)がある場合は、ルート別にお答えください。(日本国以外の国同士間における取引を除く)】  
 ・貴事業所で取り扱っている貨物が複数ある場合は、物流上の課題のある輸送経路を優先して5つお答えください。物流上の課題が無い場合は、5つの代表的な輸送経路についてお答えください。

項目	記入方法	ルート1	ルート2	ルート3	ルート4	ルート5
品目 (P8参照)	貴事業所で取り扱われている貨物の品目を直接記入するか、または、P8「取扱品目番号表」よりあてはまる番号を欄内にご記入ください。					
区分	欄内の該当するものに○印をつけてください。 ※「移出・移入」とは、国内での取引をさします。	輸出・輸入 移出・移入	輸出・輸入 移出・移入	輸出・輸入 移出・移入	輸出・輸入 移出・移入	輸出・輸入 移出・移入
単位	通常ご使用の単位を欄内にご記入ください。 (「トン/年」、「フレートトン/年」など)					
貨物量	おおまかな貨物量を欄内にご記入ください。					
納入/仕入れ先の都市名	具体的な都市名を欄内にご記入ください。					
取引先	欄内のあてはまる番号に○印をつけてください。	1. 海外現地日系企業 2. 海外現地の外国籍企業 3. 国内企業	1. 海外現地日系企業 2. 海外現地の外国籍企業 3. 国内企業	1. 海外現地日系企業 2. 海外現地の外国籍企業 3. 国内企業	1. 海外現地日系企業 2. 海外現地の外国籍企業 3. 国内企業	1. 海外現地日系企業 2. 海外現地の外国籍企業 3. 国内企業
利用港湾/空港	貨物の輸送に港湾または空港を利用している場合は、荷積みする(最初)、及び荷卸しする(最後)の港湾または空港を欄内にご記入ください。	(最初)  (最後)	(最初)  (最後)	(最初)  (最後)	(最初)  (最後)	(最初)  (最後)
物流上の課題のある区間	下表A「物流上の課題のある区間の選択肢内容」からあてはまる番号をご記入ください。「8. その他」を選択された場合は、具体的な内容を欄内にご記入ください。また、欄内のあてはまる輸送区間に○印をつけてください。	(国内・国際間・海外現地)	(国内・国際間・海外現地)	(国内・国際間・海外現地)	(国内・国際間・海外現地)	(国内・国際間・海外現地)
物流上の課題	下表B「物流上の課題の選択肢内容」からあてはまる番号を選択し、番号とともに具体的な内容を欄内にご記入ください。(複数回答可)					

選択肢	表A「物流上の課題のある区間の選択肢内容」
1	陸上輸送【コンテナ車】(工場⇄港湾、工場⇄納入先 など)
2	陸上輸送【コンテナ車以外】(工場⇄港湾、工場⇄納入先 など)
3	陸上輸送【鉄道】(工場⇄港湾、工場⇄納入先 など)
4	海上輸送【コンテナ船】(港湾⇄港湾)
5	海上輸送【RORO船・フェリー】(港湾⇄港湾)
6	海上輸送【一般貨物船】(港湾⇄港湾)
7	航空機輸送(空港⇄空港)
8	その他

※コンテナ車とはセミトレーラーのことをさします。



選択肢	表B「物流上の課題の選択肢内容」
1	自社の施設の更新(用地の移転、老朽化対策 など)
2	運送事業者等の人手不足への対応(トラックドライバーの確保、倉庫内作業員の確保 など)
3	道路等のインフラの補修(道路の補修、港湾の荷役機械の更新 など)
4	新たな道路等のインフラの整備(高速道路の整備、港湾の整備 など)
5	ルート規制の緩和(〇～〇間における大型車の通行規制の緩和、国境を超えた相互乗入れ化 など)
6	通関手続きの簡素化等(自国の通関関係書類の電子化の対象範囲の拡大 など)
7	通関以外の手続きの簡素化等(車両通行許可申請の簡素化 など)
8	輸送手段の運行頻度の増加(コンテナ船の就航便数の多頻度化 など)
9	輸送手段の新設(鉄道の国際輸送への対応、国際RORO船の増便 など)
10	製造拠点や物流拠点の集積(物流拠点の集積による輸送時間の短縮・コストの縮減 など)
11	新たな物流サービスを提供する事業者の誘致(小口貨物混載サービスセンターの誘致 など)
12	環境負荷の低減
13	災害時等の代替輸送手段やルートの確保
14	輸送については外部委託をしているため不明
15	その他

**問4. へお進みください**

**問4. 主要な物流ルートについてお答えください。(製造業)**

【問3-1. または問3-2. で回答頂いた物流ルートの決定者及び決定理由についてお答えください。】

記入方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流上の課題があるルートについて、問3-1. または問3-2. のルート番号1~5より代表的なものを1つお答えください。</li> <li>・物流上の課題が特にならない場合は、最も取扱いが多い貨物のルート番号についてお答えください。</li> <li>・「物流ルート決定者について」及び「物流ルート決定理由について」であてはまる番号に○印をつけ、( )内に具体的にご記入ください。(複数回答可)</li> </ul>
------	--

問3-1. または問3-2. で回答したルート番号

選択肢	物流ルート決定者について
1	貴事業所内担当者 (物流担当部署 など)
2	別事業所の担当者 (事業所名: )
3	輸送委託先 (フォワーダー) (社名: )
4	商社 (社名: )
5	船社 (社名: )
6	客先指定 (国内)
7	客先指定 (国外)
8	不明
9	その他 ( )

選択肢	物流ルート決定理由について
1	輸送時間とコストの両面から判断
2	コストを重視して判断
3	輸送時間を重視して判断
4	荷痛みリスクが少ない
5	商習慣により業者及びルートが定まっている
6	遅延などのリスクが少ない
7	環境負荷が少ない
8	外部委託等の理由により不明
9	その他 ( )

【上記の問4. で回答頂いた物流上の課題のある移出・移入、輸出・輸入のルートについてお答えください。】

記入方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調達時または出荷時のあてはまる物流ルート上で経過している拠点を把握している範囲で○を塗りつぶしてください。(パターン1に該当しない場合は、パターン2で経過している拠点を□の中に具体的にご記入いただき、○を塗りつぶしていただくか、パターン3に具体的にご記入ください)</li> <li>・それぞれの拠点が国内か海外かについても○印をつけてください。</li> </ul>
------	--

**調達時 (輸入または移入)**

	調達の仕入れ先や生産拠点	調達先の物流拠点	卸売業者の物流拠点	小売店舗や生産者などの物流拠点	小売店舗や工場などの生産拠点
パターン1	○ (国内・海外)	○ (国内・海外)	○ (国内・海外)	○ (国内・海外)	○ (国内・海外)
パターン2	□	□	□	□	□
パターン3	上記以外のパターンを具体的にご記入ください				

**出荷時 (輸出または移出)**

	工場などの生産拠点	生産者などの物流拠点	卸売業者の物流拠点	小売業者や納品先の物流拠点	小売店舗や納品先の工場など
パターン1	○ (国内・海外)	○ (国内・海外)	○ (国内・海外)	○ (国内・海外)	○ (国内・海外)
パターン2	□	□	□	□	□
パターン3	上記以外のパターンを具体的にご記入ください				

問5. へお進みください

## 2. 事業展開に関する意向

問5. 今後の貴事業所における事業展開を図る上で、物流面で重視する項目を選び1位から最大5位まで順位をご記入ください。(海外、国内物流を問わず) また、選んだ項目の現在の達成状況についてもお答えください。

【「その他」を選択された場合は、具体的な内容を( )内にご記入ください。選んだ項目について、「重視する項目の達成状況」であてはまる番号に○印をつけ、「2. 未達成」を選択された方は欄内にその理由もご記入ください。】

順位	物流面で重視する項目	重視する項目の達成状況	達成していない理由
	港湾や海上輸送のコスト	1. 達成 2. 未達成	
	空港や航空輸送のコスト	1. 達成 2. 未達成	
	港湾や空港輸送以外に係るコスト (在庫管理等含む)	1. 達成 2. 未達成	
	港湾における待機時間	1. 達成 2. 未達成	
	空港や航空輸送に係る輸送時間	1. 達成 2. 未達成	
	港湾や空港以外に係る輸送時間	1. 達成 2. 未達成	
	輸送時間の信頼性 (遅延リスクの減少等)	1. 達成 2. 未達成	
	荷痛みの回避	1. 達成 2. 未達成	
	通関手続きや検疫等に係る時間	1. 達成 2. 未達成	
	効率性 (IT化や自動化等)	1. 達成 2. 未達成	
	環境負荷低減や社会活動等への取組み	1. 達成 2. 未達成	
	その他 ( )	1. 達成 2. 未達成	

問6. へお進みください

**問6. 将来的に海外展開（海外に向けて輸出・販売、海外からの調達）または拡大したいと考えている製品や原料等がありますか。**

【あてはまる番号に○印をつけてください。】

1. そう思わない \_\_\_\_\_ → 問7. へお進みください  
 2. 将来的に海外展開または拡大したい \_\_\_\_\_ → 問8. へお進みください

**問7. 将来的に海外展開または拡大したいと思わない理由をお答えください。**

【下表「海外展開または拡大したいと思わない理由」であてはまる番号に○印をつけてください。（「5. その他」を選択された場合は、具体的な内容を（）内にご記入ください。）（複数回答可）】

選択肢	海外展開または拡大したいと思わない理由
1	国内市場で十分であるため
2	海外展開または拡大にメリットがないため
3	海外展開または拡大に関する情報がなく、メリットが分からない
4	リスクが大きいため
5	その他 ( )

問10. へお進みください

**問8. 将来的に海外展開または拡大をしたいと思う理由についてお答えください。**

【下表「海外展開したい理由の選択肢内容」であてはまる番号に○印をつけてください。

（「7. その他」を選択された場合は、具体的な内容を（）内にご記入ください。）（複数回答可）】

選択肢	海外展開したい理由の選択肢内容
1	取引先の海外進出に合わせるため
2	事業規模を広げたい
3	海外に生産拠点を移し、コストを抑えたい
4	原料等を海外からの調達に切り替えてコストを安く抑えたい
5	仕入れ先の生産拠点が海外に移転したため
6	国内市場に限界を感じているため
7	その他 ( )

問9. へお進みください

**問 9. 海外展開（既進出事業の拡大含む）したい国及び問題、想定される貨物量をお答えください。**

【貴社で今後、海外展開（既進出事業の拡大含む）を希望されている貨物の品目や展開先（海外）別にお答えください。】

項目		記入方法	1	2	3
希望する国 今後の海外展開を	区分	該当するものに○印をつけてください。	輸出・輸入	輸出・輸入	輸出・輸入
	展開先の国	具体的な国名を欄内にご記入ください。			
	展開先の都市	具体的な都市名を欄内にご記入ください。			
	海外展開にあたっての問題点	下表「C「海外展開にあたっての問題点」からあてはまる番号を欄内にご記入ください。「11. その他」を選択された場合は、具体的な内容を欄内にご記入ください。（複数回答可）			
い貨物 新たに海外展開した場合に	品目（P8 参照）	貴事業所で取り扱われている貨物の品目または、別紙「取扱品目番号表」よりあてはまる番号を欄内にご記入ください。			
	単位	通常ご使用の単位を欄内にご記入ください。（「トン/年」、「フレートトン/年」など）			
	貨物量	おおまかな数値を欄内にご記入ください。			

選択肢	表C「海外展開にあたっての問題点」
1	海外で事業所を設立する方法が分からないが、相談できる公的機関が無い
2	海外に貨物を輸送する方法が分からないが、相談できる公的機関が無い
3	海外の取引先候補はあるが、コンテナ化できるほどの貨物量が確保できない
4	海外展開に関する専門的な知識を身に付ける公的な講習が無い
5	貨物輸送を依頼できるフォワーダーが分からない
6	現地で事業を実施する上での法的な制約
7	海外にどんなビジネスチャンスがあるか分からないが相談できる公的機関が無い
8	製品等の品質確保が困難
9	海外展開にあたっての法令に関する情報収集が困難
10	現地の人材の確保が困難
11	その他

**問 10. 物流戦略チームへの物流に対する施策ニーズについてお答えください。**

【国内外での事業者間の貨物輸送および港湾や空港を利用した貨物の輸送において困っていることや、物流コスト削減など競争力向上に必要と考えられる施策等についてご自由にご記入ください。】

国際物流戦略チームでは、貴事業所に直接調査員がお伺いして、アンケート内容に関する事項をより詳しくお聞きするヒアリング調査を考えております。貴事業所へのヒアリング調査の可否をお答えください。

「ヒアリング調査 可」とご回答いただいた中から、複数社ヒアリング調査をご依頼したいと考えております。

1. ヒアリング調査 可    2. ヒアリング調査 否

ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました。

# 取扱品目番号表

品類	品目名	内容例	品類	品目名	内容例
農水産品	1	麦 大麦、裸麦、小麦、えん麦、らい麦、精麦	化学工業品	43	陶磁器 磁器、タイル、セラミックブロック、浴槽、便器
	2	米 もみ、玄米、精米、白米		44	セメント 各種セメント
	3	とうもろこし とうもろこし		45	ガラス類 板ガラス、ガラス棒、ガラス管、理化学用ガラス器具、ガラスペン、ガラス繊維
	4	豆類 大豆、小豆、えんどう豆		46	窯業品 コンクリート製品、レンガ、瓦、石灰、石棉製品、耐火ボード、石こう、研磨材、セメント混和剤
	5	その他の雑穀 あわ、ひえ、そば		47	重油 A重油、B重油、C重油
	6	野菜・果物 いも類、大根、キャベツ、きのこ、山菜、わさび、梅、栗、みかん、リンゴ、冷凍野菜、冷凍果物		48	石油製品 ガソリン、灯油、軽油、ジェット燃料油、潤滑油、ナフサ
	7	綿 花原綿、コットンリントナー		49	L N G 液化天然ガス
	8	その他農産品 花き、亜麻、てん菜、茶、葉たばこ、種子、芝草、むしろ、コーヒー豆、さとうきび、こうぞ、ハーブ		50	L P G 液化プロパンガス、液化ブタン
	9	羊 羊毛		51	その他石油製品 絶縁油、グリース、ワセリン
	10	その他畜産品 家畜、牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵、ペット用動物、はち蜜、牛皮、原毛皮、蚕、未加工乳		52	コークス コークス、コーライト
	11	水産品 魚介類(活魚、生鮮、冷凍、塩蔵、乾燥もの)、昆布、わかめ、のり、観賞魚、真珠、さんご		53	石炭製品 煉炭、豆炭、ピッチコークス
林産品	12	原木 製材用原木、パルプ用原木、足場丸太、電柱用材	54	化学薬品 ソーダ、硫酸、カーバイド、無機工業薬品、エチレンアルコール、高圧ガス	
	13	製材 材板、角材、フローリング	55	化学肥料 硫安、りん肥、カリ質肥料、配合肥料、化成肥料	
	14	樹脂類 天然ゴム、生松やに、生うるし、天然樹脂	56	その他化学工業品 合成染料、有機・無機顔料、油性塗料、医薬品、石けん、洗剤、写真感光材料、火薬、農薬、殺虫剤、印刷インキ、接着剤	
	15	木材チップ 木材チップ、木くず	57	紙・パルプ 製紙パルプ、溶解パルプ、洋紙、板紙、和紙、新聞用紙、建材原紙、かべ紙、段ボール原紙	
	16	その他の林産品 竹材、苗木、果樹、樹皮	58	糸及び紡績半製品 化学繊維糸、綿糸、燃糸、紡績半製品(綿紡績・化学繊維紡績など)、麻糸、毛糸、絹紡燃糸	
	17	薪 炭薪、木炭、黒炭、加工炭、かいり灰	59	その他繊維工業品 ニット生地、化学繊維織物、綿織物、その他の織物、繊維二次製品(レース、製綿、漁網など)	
鉱産品	18	石炭 石炭、亜炭、無煙炭、せん石、泥炭、草炭	軽工業品	60	砂糖 粗糖、上白糖、糖みつ、水あめ、氷砂糖、黒糖
	19	鉄鉱石 鉄鉱石、硫化鉄鉱、磁鉄鉱		61	製造食品 牛乳、バター、アイスクリーム、小麦粉、香辛料、めん類、パン、菓子、製茶、缶詰・ビン詰食品、弁当、寿司、冷凍食品、レトルト食品
	20	金属鉱 マンガン鉱、クロム鉱、銅鉱、アルミニウム鉱		62	飲料 ビール、清酒、洋酒、清涼飲料水、茶飲料
	21	砂利 川砂、建設用岩石		63	水 飲料水、水、雪
	22	石材 庭石、墓石		64	たばこ 紙巻きたばこ、葉巻きたばこ
	23	原油 原油、天然ガス(ガス状のもの)		65	その他食料工業品 食塩、化学調味料
	24	りん鉱石 グアノ、りん酸カリウム		66	がらん具 各種がらん具、人形、ぬいぐるみ
	25	石灰石 石灰石		67	衣料・身用品・はきもの 下着、外衣、和服、スポーツウェア、毛皮製品、寝具(ふとん、毛布、枕など)、靴下、じゅうたん、カーペット、テーブルカバー、タオル、かばん、靴
	26	原塩 塩岩塩、にがり		68	文房具・運動娯楽用品・楽器 筆記用具、墨、鉛筆削り、製図器、紙製品(ノート、アルバム等)、事務用接着剤、運動競技用品、絵画用品、室内娯楽用品、パチンコ台、楽器
	27	非金属鉱物 けい砂、陶土、耐火粘土、石粉、ダイヤモンド、めのう、硫黄、ほたる石、ボーキサイト		69	家具装飾品 たんす、棚、テーブル、ベッド、電動ベッド、金庫、仏具神具、ロッカー、キャビネット
金属機械工業品	28	鉄 鋼鉄、原鉄、鉄製品、粗鋼	特殊品	70	その他日用品 ぼうし、バケツ、家庭用調理器具・食卓用品、紙おむつ、ライター、かつら、くし、ファスナー、ボタン
	29	銅 材形銅、棒銅、銅板、帯銅、銅管		71	ゴム製品 ゴムタイヤ、チューブ、ゴムホース、ゴムベルト、工業用ゴム製品、医療用ゴム製品
	30	非鉄金属 銅、鉛、アルミニウム、鋼・鉛などの棒・線材・板、銅線、電線ケーブル、光ファイバーケーブル		72	木製品 単板、合板、積層板、新建材、建具、ベニヤ板、マッチ軸木、木毛、コルク製品、チップボード
	31	金属製品 缶、鉄骨、サッシ、釘、ボルト、刃物、木工道具、ばね、鋳物、金属柵、錠、鉄柱、橋梁		73	その他の製造工業品 眼鏡、農機具、漁具、救命防災用器具、皮革製品
	32	鉄道車両 機関車、電車、客車		74	金属くず 鉄くず、鋼くず
	33	完成自動車 乗用自動車、乗合自動車、貨物自動車		75	再利用資材 古紙、紡績ウエスト、プラスチッククラップ
	34	その他輸送機械 フォークリフト、ゴルフカート、地上電源車		76	動植物性製造飼料 骨粉、魚粉、肉粉、牧草、配合飼料、まぐさ、たい肥、酒かす、大豆かす、ぬか、ふすま
	35	二輪自動車 オートバイ、モータースクーター、二輪用倒車		77	廃棄物 じんかい、ふん尿
	36	自動車部品 ガソリン機関、自動車車体、自動車用品		78	廃土砂 建設工事にもなう廃土砂、残土
	37	その他輸送車両 自転車、リヤカー、そり、船舶、飛行機		79	輸送用容器 コンテナ、ドラム缶、石油缶、ボンベ、段ボール箱、木箱、麻袋、たる
	38	産業機械 ボイラ、タービン、旋盤、圧延機、冷凍機、業務用エアコン、破砕機、紡績機械、掘りこ機、農業用機械、印刷機械、半導体製造装置、パルプ類		80	取合せ品 引越荷物、郵便物、小荷物、各種商品詰合せ
	39	電気機械 発電機、整流器、変圧器、照明器具、家庭用電化製品、家庭用エアコン、ラジオ、テレビ、ステレオ、DVDプレーヤー、パソコン、液晶ディスプレイ		81	分類不能のもの
	40	測量・光学・医療用機械 計量器、測定機、時計、顕微鏡、望遠鏡、カメラ、光学レンズ、医療用機械			
	41	事務用機器 電子卓上計算機、複写機、パーソナルコンピュータ			
	42	その他機械 自動販売機、火災報知機、温水暖房装置			